

1970年代に人気の観光アトラクションだった小型遊覧飛行機より撮影した島の様子
(写真提供 中井達郎氏)

島の自然と暮らしのゆんぬ古写真展

vol.5

日時

2026年
(令和8年)

2月5日(木) ~ 23日(月)

場所

与論町砂美地来館

(与論町茶花2045)

*水曜日休み

めぐる

与論島は、自然の恵みを活かした暮らしを大切にしてきた島です。2020年より、地域の方や与論町教育委員会、地元NPO、資料館、研究者らが共に協力しあう協働プロジェクトとして、市民参加型「自然と暮らしを考えるゆんぬ古写真調査」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、与論島の人たちが自然とともに生きてきた知恵や暮らし、自然の移り変わりを理解する歴史文化資料の収集と記録や、島の未来のあり方を考えるための対話の場づくり、教育教材開発、誰もが閲覧し、使用することのできるデジタルアーカイブの構築に取り組んできました。

第5回目になる写真展のテーマは「めぐる」。

今年度は、設立60周年の節目を迎えた一般社団法人ヨロン島観光協会の協力を得て実施します。人とモノが交流する場としての「観光」を、地域の方々から提供いただいた写真や、観光協会所蔵の写真、昭和30年代に九学会連合の学術調査で来島された写真家の故 芳賀日出男氏より与論町教育委員会に寄贈された写真をもとに振り返ります。これらの経験と記憶に耳を傾けることは、生きる知恵を未来へ繋ぐことでもあります。収集された昭和30年代から現代までの写真を通して、島の自然や暮らしがどのように変化してきたのかを、ぜひ世代を超えて語り合う機会となれば幸いです。写真の中には、詳しくはいつの、何をしているものなのか、わからないものがたくさんあります。ぜひ、いろんな世代の方に見ていただき、情報提供いただければと願っています。

